

[ 2024.1 ]

# ばるーん

Newsletter  
VOL.03



## 専務理事よりごあいさつ

日頃より子どもシェルター「ばるーん」をご支援頂き誠にありがとうございます。NPO法人佐賀子ども支援の輪で専務理事を務めております、佐藤と申します。

日本では「少子化」という言葉が一般的となって久しいですが、これをデータで見ると、15歳未満の「子ども」の数は、1990年時点では2254万人だったのに対し、2019年には1533万人となっており、その減少割合は著しいものになっていることが分かります。にもかかわらず、保護を要する子どもの数は毎年変わらず4万5000人ほどが確認されていることから、子どもの数に対して要保護児童の割合は年々増えている状況にあるといえます。

また、要保護児童となる原因が「虐待」にある子どもは、20年前と比較し、約14倍となるなど、社会的養護の充実化を図る必要があること

はいうまでもありません。

そのような状況の中、私どもの法人が運営する「ばるーん」は、佐賀県弁護士会の有志を中心に構想され、以降、隣接団体、司法書士、大学教授など多くの識者を巻き込みながら、開設に至りました。

構想当初は、福祉分野を専門としていない弁護士が集まり、あーでもない、こーでもない議論を重ね、まさに暗中模索の状況でしたが、多くの皆さまに助けられながら、現在まで運営を続けることができております。

「ばるーん」を巣立っていった子どもたちは20名を超えており、この佐賀でも社会的支援を必要とする子どもが存在していることを改めて実感するとともに、私たちの活動が、今後の日本を支える子どもたちの将来に少しでも良い影響を与えることができれば、これ以上の喜び

はありません。

開設から3年が経とうとしています。これからも子ども一人ひとりの個性と向き合いながら、夢を追い求め、自分の可能性を広げられるように、その子にとって最良と考えられる支援を続けてまいります。

「ばるーん」では24時間、365日対応で、子どもたちが安心して生活できるようにサポートしております。運営は、皆様のご支援で支えられています。今後とも、温かいご支援のほど、よろしくお願いいたします。



特定非営利活動法人  
佐賀子ども支援の輪

専務理事 佐藤 潤一

## 等身大の子どもたちと私

初めまして。今年9月からばる一んで働くことになり3か月が過ぎました。私は前職、警察で少年・少女の立ち直り支援を専門とする仕事をしていました。

ばる一んに入所する子どもたちに関わりの深い「非行」「被害」「虐待」等の言葉を聞くと「怖い」「得体が知れない」「関わりたくない」等、ネガティブなイメージを持たれる方もいらっしゃるかもしれませんが。田舎の小さな町で育った世間知らずの私もその一人でした。

そんな私が変わるきっかけをくれたのは、学生時代にボランティアで関わった子どもたちでした。そこで出会った子どもたちは、金髪で煙草を吸って言葉遣いも荒いけれども、お年

寄りや小さな子どもには優しく接するし、安心できる人には体を寄せて甘える。お腹だって空くし、嬉しければ笑い、悲しければ泣く。いい意味でも「普通」でした。そこで私はハッとしました。「勝手にカテゴライズして、子どもたちの可能性を見限っていたのは自分だった」ということに。自身の視野の狭さを恥じたと同時に、目の前の子どもたちが愛しくてたまらなく感じるようになった瞬間でした。

ばる一んに辿り着く子どもたちは、これまでの環境では子どもらしく、人間らしくいることが叶わずに、身も心も疲れ切っていることが多いです。しかし、ばる一んで安全で安心できる時間を過ごすことで、自分自身に向き合うことができるようになり、これまで

蓋をせざるを得なかった感情の扉を少しずつ開き、喜怒哀楽いろんな表情を見せてくれるようになります。

子どもたちにとって、ばる一んで過ごす時間はこれからの長い人生のうちほんの短い時間かもしれませんが、堅い蕾が花開く瞬間に立ち会えることをとても嬉しく思い、この仕事に携われることを誇りに思います。これからも等身大の自分で、目の前の子どもたちと一緒に泣いたり笑ったりして、毎日一生懸命過ごしていきたいと 생각합니다。

佐賀 子ども  
シェルターばる一ん  
スタッフ  
S・A



## 子どもシェルターに入所した子どもの声

### Q. 入所前における出逢った大人への思い・印象は？

最初は不信感しか無かったです。シェルターのスタッフさん含め、すべての大人は敵という目で見ないと、特に家出中はダメだと思っていました。

### Q. 入所後における職員の支援に関する感想・希望は？

こんなにも他人に一生懸命に向き合ってくれてすごく嬉しかったです。久しぶりに1日3食と間食の生活を送って、少し驚きました(笑) また、太ったのに嬉しかったのは初めてでした。1人1人に部屋があって、ちゃんとプライベートな空間が確保され、とても過ごしやすいかったです。シェルターと聞いた時、ホテルとか地下室をイメージしていたけど、普通の家で安心しました。入所した時、盗聴器が入っていると思い、枕とぬいぐるみを

殴ってしまい、ごめんさない。

### Q. 退所日が近づいてくるときの不安はどうでした？

特になかったです。退所日には住む家も生活保護の受給も決まっていたので安心していました。

### Q. 退所後の不安・課題は？

市役所の方々のおかげで無事に仕事も見つかり、今ではシェルターのスタッフさんや弁護士さんを含め、いろんな方の支えがあって無理せず生活を送ることができています。本当に感謝しかありません。

### Q. 居場所をなくした子どもが求めるものは何？ Kちゃんは何を求めていますか？

居場所をなくした子どもの求めるも

のは、家だと思います。私自身も他人からの愛や心が休まる場所よりも家がちゃんとあって、布団が欲しいと思いました。入所前の車中泊では、休んだ気にならなかったです。シェルターの方は事情を知った上で色々動いてくれる大人だと思います。子どもだと限界があり、大人に動いてもらわないと成人するまで本当に何もできないと感じました。

佐賀 子どもシェルター  
ばる一んを利用

Kちゃん 19歳



「Kちゃんが描いてくれたイラスト」

親から虐待を受けて家出をして、車中泊をしていたKちゃん。生活する場所がなく、友人の親からシェルターを紹介されて、入所。

## 活動報告

「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加しています。

毎月11日、イオンモール佐賀大和にて、お客さまがレジ精算時に受け取った黄色いレシートを備え付けのBOX(子どもシェルターばるーん)に投函していただくことで、レシート合計の1%分の品物を各団体に寄贈する取り組みです。



## 講演・講話

- 令和5年10月 2日 佐賀清和高校(生徒向け)様 / 理事長
- 令和5年10月11日 佐賀清和高校(教職員向け)様 / 理事長
- 令和5年11月15日 佐賀県社会福祉士会様 /  
理事長「子どもシェルターでの支援について～入所から退所まで～」



## シンポジウムのお知らせ

子どもシェルターシンポジウム 2024「子どもたちのリアルな声」

▶令和6年2月22日(木)午後2時～4時30分 アバンセ 佐賀市天神三丁目2-11(どんどんどの森内)



## シェルターでの活動

入所した子どもはストレスにより精神が不安定になりやすいです。そこで、スポーツ活動や季節のイベントを通して精神の安定化を図っています。また、職員とレクリエーションを共に過ごすことで子どもとの関係が深まり、信頼へと繋げています。



「子どもがお好み焼きを焼いてくれました」



「スタッフと一緒に巻き寿司を作ったよ」

### レクリエーション内容

- 軽スポーツ(バスケットボール、バレーボール、バドミントン)
- 映画鑑賞 ●BBQ ●岩盤浴 ●マルシェ
- 宇宙科学館見学、プラネタリウム見学
- アトラクション体験 ●ハイキング
- お花見 ●神社参拝 ●料理やお菓子作り
- ネイルや工作 など



「初めて猫カフェへ行ってきました」



「極めて稀ですが小学生が入所して、お姉さん入所者と遊んでいます」

## ご支援の御礼

このたびは、当法人の活動をご理解いただき、また過分なるご支援を賜り心から感謝申し上げます。おかげさまで、多くの方々にご理解とご賛同をいただき、深く感謝いたしております。今後も子どもたちが、夢を持ち人生を歩むことができるよう活動を続けて参ります。

今後とも、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご賛助いただきました皆様には、随時当法人の活動のご報告やノベルティの作成などを進めさせていただきます。

# 32名

### 入所者数

※令和3年4月1日開所～  
令和5年11月30日時点



たくさんの支援物資をいただき、ありがとうございました。ばるーんの生活や退所後の子どもの生活で使わせていただきます。

## ご支援のお願い



24時間365日対応での子どもたちの生活や運営のための経費は、公的費用だけでは足りないため、皆様のご支援で支えられています。ぜひとも支援の輪につながっていただき、私たちの活動を支えてください。温かいご支援のほど、よろしく願いいたします。

### A 会員になる(賛助会員)

継続的にご支援いただくとともに、ばるーんからの報告やイベントのご案内などをさせていただきます。専用の払込用紙をご利用いただけますと、会員登録できます。

個人	年会費	10	3,000円
団体	年会費	10	10,000円

### B 寄付をする(寄付金・物資)

金額にかかわらず大歓迎です。お寄せいただいたご寄付は子どもたちのために大切に使用させていただきます。遺産を子どもたちのために役立てたいとお考えの方や、ご自身の財産について遺言書を作成することで公的な団体にご寄付をお考えの方は、当団体へのご寄付も候補の一つとして是非ご検討ください。

佐賀銀行 本店営業部(店番500)  
口座番号 普通預金口座 3206337  
口座名義 特定非営利活動法人 佐賀子ども支援の輪

ゆうちょ銀行 一七九(イチナナキュウ)店  
口座番号 当座口座 0152662  
口座名義 特定非営利活動法人 佐賀子ども支援の輪

また、物品(※原則として未使用のもの)の寄付もお願いしています。食料品、日用品、消耗品、衣類、家具、家電等、ばるーんでの生活や退所後の子どもの生活で使わせていただきます。



佐賀子どもシェルター  
ばるーん

特定非営利活動法人 佐賀子ども支援の輪

事務局(下津浦法律事務所内)

〒842-0002  
佐賀県神埼市神埼町田道ヶ里2100-36

TEL 0952-37-5963

[受付時間]  
平日9時～17時

佐賀子どもシェルター

検索

